

ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立旭小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
	総合	「米」について	今市まちづくりセンター 今市地区の地域の方 育苗センター J A坂井さん 地域の田んぼ 西田さん 縄づくり体験 渡辺さん 藁ぼうきづくり 渡辺さん 旭ふるさと祭り
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗について見学をしたり米作り体験をしたりすることを通して米作りについての理解を深める中で、探求課題を見つけることができる。 ・農作業を通して協力する心や生命を育てる難しさや喜び、勤労の尊さを実感することができる。 ・地域の方と交流することでふるさとを愛する気持ちを持つことができる。 		
<p>1 取組の概要</p> <p>4月：育苗センター見学・代かき体験 5月：田植え体験・バケツ稲の育て方についての話 6月：坂本地区棚田見学・農事法人「さかもとのもと」河野さんのお話 9月：育成調査 10月：縄づくり体験・稲刈り体験・脱穀体験 12月：感謝の会 2月：学習成果発表会で作った米を販売（売上金は能登半島地震の義援金とする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作り体験を通して、米作りの大変さや収穫の喜びを感じることができた。 ・体験でお世話になった地域の方を招き、「感謝の会」を計画し実施した。 ・能登半島地震の義援金募金活動として、学習成果発表会で収穫した米を販売した。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活ではなかなか体験することができない、農作業を通して協力する心や生命を育てる難しさや喜び、勤労の尊さを実感することができるようにした。 ・地域の方と同じ作業をし、交流することでふるさとを愛する気持ちを持てるように、まちづくりセンターと連携をして、J Aの方や田んぼの地権者の方とふれあうことができるようにした。 <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りを通して学んだことについて ICT 機器を活用してまとめる場を設定し、米作りについての知識や理解を深めることができるようにした。 ・米の重さを計ること（算数科）、義援金募金活動を行う（社会科）など、様々な教科等横断的な学習と関連づけるようにした。 			

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- ・地域の方と協力して米作りをすることで、交流することの楽しさや米作りをしておられる方の努力にふれ、改めて地域のよさを発信していこうとする意欲を持った。
- ・地域米作りに関する知識や専門的な話を地域の方から聞くことを通して、米作りのことについてより深く知ることができた。
- ・米作りを通して地域の方との交流を繰り返すことで、地域の方の温かさを感じ、感謝の会の開催へとつながった。感謝の会で地域の方が喜んでくださる姿を見て、更にふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲を高めることができた。

（学力育成の視点から）

- ・米作りを通して学んだことについて ICT 機器を活用してまとめることで、わかりやすく伝えたりまとめたりする力が付いてきた。
- ・「感謝の会の内容について」や「作った米をどのように活用していくか」など、話し合いの場を設定したことで、考えを伝え合ったり、友達の考えをわかろうとしたりしながらよりよいものにしようとして考える力が付いてきた。その後の活動では、決まったことに対して主体的に取り組む姿が多く見られた。

4 課題や今後の展望

- ・活動を通して、自己の気づきや課題についての振り返りをしたり、友達と共有したりすることを重ねていきたい。
- ・地域の魅力やよさを実感するとともに地域の課題にも注目することで、地域の未来についても考えをもたせていきたい。

